

特別支援教育推進情報

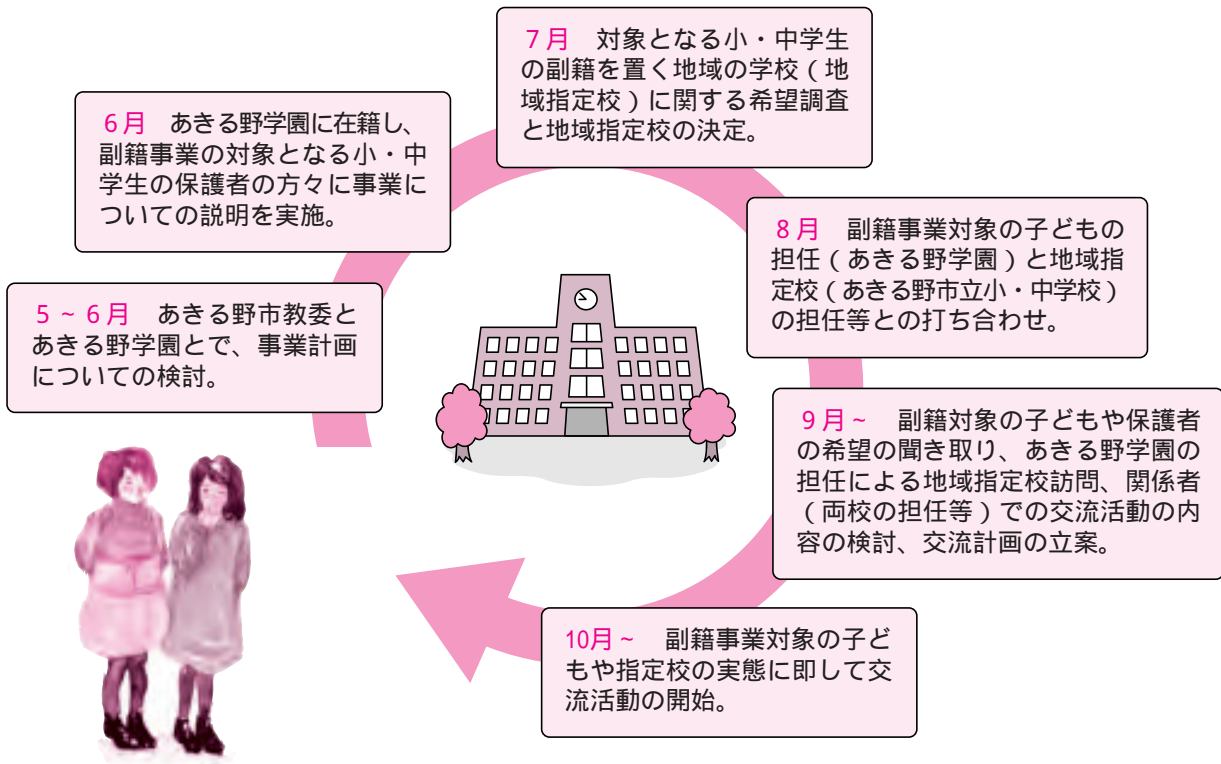
- その2 -

あきる野学園との副籍事業

Q1 副籍とは？その目的は？
A1 今年度、あきる野市が東京都から指定を受けて、特別支援教育体制・副籍モデル事業を進めていることの概要については、前号で紹介しました。副籍事業は、都立の盲・ろう・養護学校に通学する小・中学生が、住んでいる地域とのつながりを持ち続けることができるようにするための取組です。この子どもたちが、居住地域の小・中学校に副次的に「籍」(副籍)を置いて、子どもや保護者のニーズに応じた交流活動を進めます。

Q2 あきる野市では、今、どこまで進んでいるのですか？
A2 今年度は、都立あきる野学園養護学校に通学している、市内在住の小・中学生を対象に進めています。市内に住んでいてあきる野学園に通学している小・中学生18名が居住地域の小・中学校に副籍を置いて、子どもや学校の実態に合わせて、どのような交流活動がよいのかを検討しています。これまでの経過は下の図の通りです。

Q3 具体的にはどのような交流活動が計画されているのですか。
A3 交流活動の内容は、あきる野学園の子どもの障害の状況や副籍が置かれた学校(地域指定校)の実態によって異なります。障害の重い子どもの場合、副籍をおいた学校や学級の便りを



家庭に届けたり、子ども同士で手紙をやり取りしたりすることが考えられます。

また、130周年を迎えた多西小学校では、先月、子どもたちが20年後の自分へのメッセージをタイムカプセルにおさめるという行事を行いました。多西小学校に副籍を置いたあきる野学園の子どもたち3名も、未来の自分にあてた手紙を書き、タイムカプセルに入れました。20年後、このタイムカプセルを開くとき、同じ地域人として手紙を手にして、この副籍事業を通してかかわりについて語り合うことでしょうか。まさに、地域とのつながりに夢を託した取組です。

その他、学芸会や体育祭などの行事のときに、あきる野学園の子どもが地域指定校訪問をすることや、その反対に副籍が置かれた学級の子どもたちがあきる野学園を訪問することなど、子どもたちのニーズに沿いながら関係者が知恵を出し合って交流内容を検討しています。

Q4 副籍事業を進める上での課題は？
A4 子どもや保護者のニーズの把握、関係者の連絡会の持ち方や交流場面での指導体制、地域指定校の施設設備など、全てでもはじめての試みなので事業を推進するすべてのことが課題となっています。その中でも、やはり副籍事業に対する正しい理解を、学校関係者はもちろん市民全体がもてるようにすることが大切だと考えています。あきる野市民が「障害」や障害者についての正しい理解を深める中で、この事業を進めることができるようになります。その一環として、来年の2月下旬には、特別支援教育についての第3回の説明会を実施しますが、この副籍事業における交流活動の実践報告もさせていただく予定です。

学校の

特色ある取り組み

五中ソーラン

五日市中学校

学校独自の特色ある活動

本校では平成14年度から運動会の種目に「五中ソーラン」を取り入れました。

「五中ソーラン」は、中学校第3学年の全生徒が合同で行う演技種目です。本番では、表現力が高いクラスが先頭の位置で踊ることができ、毎年各クラスは、競うように本番に向けての練習に取り組みます。今年で3回目の実施ですが、子どもたちの熱心な練習の成果もあって、参観される多くの方々から賞賛の声をいただいております。今では、本校の運動会にとって、伝統的な演技種目の一つとなっています。

1・2年生も3年生になったら「五中ソーラン」を踊りたいと、期待に胸を膨らませているところですよ。



頑張っています！ -先生-

秋多中学校

このコーナーでは、家庭や学校、地域などで子どもの教育のために頑張っている人を紹介していきます。第1回目は、子どもが「分かる！できる！授業」を目指して、日々取り組んでいる秋多中学校の先生方を紹介します。

子どもの学力向上のために、
教師の「授業力」を高めたい！

「子ども一人ひとりに確かな学力を身に付けさせるには、どのような授業をしたらよいだろうか」

今、秋多中学校の先生方は、「授業力」を高める研究を進めています。子どもの学力向上には、子どもの学習意欲を高め、一人ひとりの学習状況に応じた指導が欠かせない。教師として、このような授業ができる力、つまり「授業力」を高めることが大切だと考えているのです。

東京都は今年度、確かな学力を育む授業を目指した研究を奨励するために、東京都から6中学校を「授業改善推進校」に指定しました。秋多中学校はその内の1校です。

秋多中学校ではまず、子ども一人ひとりの学習の定着の様子や家庭学習の様子などについて調査し、その状況を分析することから始めました。その上で、今までの授業を振り返り、どのように授業を改善したらよいか、国語部会、社会科部会…などの教科部会ごとに検討を進めてきました。夏季休業日（子どもたちが夏休み）を有効に使うため、教科部会や全体会、また、個人研究に取り組みました。

2学期、秋多中学校の先生方は、5教科を中心に各部会で2回以上の授業研究会を開き、大学の教授や指導主事などのその教科の専門

性の高い講師を招いて研究を進める予定です。さらに、都の授業改善推進校として、このような取組の経過や成果を全都に発信し、他校の教師の授業力向上に役立ててもらおうと、日頃の授業を公開します。年2回の公開週間を設けていますが、1回目が10月下旬、2回目が11月15日から19日までです。

新しい制度を積極的に活用しているのも秋多中学校の特徴です。少ない人数で学習ができるように少人数指導を積極的に活用し、きめ細かい指導のあり方について研究することが視点の一つになっています。また、教育委員会が配置している教員補助員を数学や英語の授業に活用して、学習の個人差への対応を工夫しています。現在、7名の教員補助員が授業に入って、少人数指導などを進めています。

かつて学校は閉鎖的で、教師もこれまでの指導の仕方や評価の仕方に固執して、なかなか新しい制度や考え方を受け入れられないといった指摘がありました。しかし、秋多中学校のように授業や研究会を広く開き、様々な立場からの多面的な評価を教師自身の向上に生かす実践が着実に進められています。教育委員会は、この真摯な取組を見守り、応援していきます！



子どもたちの安全・安心を願って

各種取り組みの紹介

教育委員会では、子どもたちの安全・安心を願い、各団体等が取り組んでいる活動状況をお知らせし、市民の皆様にもご理解とご協力をお願いしたいと考えています。

子どもたちの安全な育成を願って

あきる野市青少年健全育成地区委員会及び中学校区健全育成推進会議では、地域ぐるみによる健全な社会環境づくりを推進しています。

健全育成地域パトロール

青少年の非行防止、問題行動の抑制や青少年を危険から守るための活動として、夏休みや祭礼を中心に、青少年健全育成地域パトロールを行っています。東秋留地域（東秋留・屋城・前田地区）では、毎週土曜日に夜間パトロールを行っています。「がくどうひなんじょ」の看板の設置

青少年健全育成地区委員会では、各小中学校PTA、町内会・自治会、福生・五日市警察署及び各家庭の協力により、「がくどうひなんじょ」の看板を設置しています。

これは、子どもたちが、通学途中や遊びの際に犯罪に巻き込まれそうになったときや困ったことが起きたときに避難できる

ように、各地域の方々の協力により設置していただいているものです。現在、市内全域に754箇所設置され、子どもの安全・安心の確保に努めています。問合せ 社会教育課青少年係（内線3014）



地域防犯パトロールについて

警察署、防犯協会、町内会・自治会連合会、青少年健全育成地区委員会、PTA連合会、それぞれのご理解を得て作成した「地域防犯パトロール中」のプレートを自転車等の前カゴなどに設置し、買い物や通勤の際に使用していただきたいとお願いし、約二千枚を配布しました。そのおかげで近頃このプレートを付けた自転車をたびたび目にするようになりました。このプレートの効果として市内の各所でプレートを付けた

自転車があることで地域の防犯意識の高さをアピールすることができる。このことにより犯罪行為の抑止力となる。プレートを付けた自転車に乗ること、運転者の防犯への意識が高まる。これを契機に地域一帯の防犯意識が高まる。学校、地域によっては、特定の日に防犯運動の一環として地域を巡回する際に使用するなど防犯運動が高まる。と期待しております。プレートを自転車などに取り付けるだけのことでありますが、参加される方の負担が少ないので、継続性があり、不審者へのアピールになり、未然に犯罪行為から子どもたちを守ることが出来ます。この活動を通じて、この地域は、犯罪を起こさせないよう多くの目が光っている地域だとアピールし、子どもやお年寄りが安心して生活できるようぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。



子どもを交通事故や犯罪から守るために

交通事故や不審者による被害の多くは、登下校時と下校後の時間帯に発生しています。

日の短くなるこれからの時期は、夕方から夜にかけて特に注意が必要です。そこで、子どもたちと次の事を確認して、交通事故や犯罪に巻き込まれないようにしたいものです。子どもと一緒に点検してみましょう。登下校時は指定された通学路を使用していますか。道路上では信号を守る等、交通安全に十分留意していますか。下校後に外出する際は、家の人に、誰と、どこへ、何をしに、何時に帰る予定か話していますか。服装や持ち物に気をつけていますか。暗くなつてからの外出や寂しい場所の一人歩き等をしていませんか。

* 学校・家庭・地域が連携を図り、子どもたちの安全を確保していきましょう。
* 「安全・安心チェックリスト」（平成15年9月発行 東京都教育委員会）を全児童・生徒に配布しています。未然防止に向けて是非ご活用ください。

もし、事件や事故に遭ったら

福生警察署 042 551 0110
五日市警察署 042 595 0110
青少年に関する相談にも応じてくれます。

学校に来て！ 学校に行こう！



このコーナーでは、子ども
の教育に関するさまざまな情報を
提供し、学校・地域・行政の取
り組みへの理解を深めることを
ねらいとしています。

菊作り：

地域とのふれあい
西秋留小学校

地域の皆様の協力を得て、昭
和49年から始まった菊作り。途
中、中断がありました。3年
前から6年生が総合的な学習の
時間に取り組みようになり、西
秋留小学校の伝統を引き継いで
います。

土づくりや苗の植え方、そし
て芽つみや虫除けのやり方など、
ゲストティーチャーとしてお招
きした地域の方々の指導を受け
ながら取り組んでいます。

この菊づくりを通して、地域
の方々とふれ合い、地域との関
わりをより深められたらと考え
ています。

今、子どもたちの願いは、ど
の鉢もきれいに咲かせ、地域の

様々な施設に届け、喜んでもら
いたいということです。



文部科学省委託事業

地域子ども教室

本年7月から来年3月につ
けて、あきる野市地域子ども教室
が開催されています。

「地域子ども教室」とは、今
年度より文部科学省が始めた事
業で、「社会全体で子どもを見
守り育てていく」という趣旨を
踏まえ、地域の皆さんの協力を

より、異なる学年・年齢の友達
や大人たちとの交流、各地域の
特色を生かした体験活動などを
通じた子ども居場所作りを目的
として実施されています。市
では地域別に3教室7実施団体
が取り組んでいます。小学校の
家庭での「ティーボール」、あ
きる野学園養護学校での「和太
鼓」、「お菓子作り」など各種
活動を行っていますのでご参加
ください。

問合せ 社会教育課社会教育係
558 2438へ



生涯学習

支援者バンク

市民の生涯にわたる学習活動
児童・生徒の学校外活動を支援
するため、教育委員会は、生
涯学習支援者バンク事業を実施

しています。

この事業は、市民の方々の中
で、文化、芸術、体育、スポー
ツ・レクリエーション活動及び
学校の部活動等の分野に専門的
知識・技能、経験を持ち、支援
に意欲を持っている方を「生涯
学習支援者」として登録し、青
少年体験活動等支援センターと
の連携により、学校や地域、団
体・グループ等から希望に
て、教育委員会が指導者や協力
者として紹介しています。

平成16年度では、支援者バン

クの登録者は147人、活用状
況は、子供会行事3件、PTA
学年行事5件、学校行事4件、
地域の方からの依頼2件、青少
健行事などの依頼があり対応し
ています。

このように気軽に生涯学習支
援者バンクを活用いただき、青
少年の体験活動をはじめ地域の
生涯学習にお役立てください。
また、支援者バンクの登録者も
随時受け付けています。

問合せ 社会教育課社会教育係
558 2438へ

教育相談所を開設しています

あきる野市教育相談所では
高校生以下のお子さんの、教
育に関する悩みや心配ごとの
相談を受け、助言や必要な情
報の提供などを行い、悩みご
との解消に向けて相談員が一
緒になって考えます。

電話相談 平日午前9時～
12時、午後1時～5時

面接相談 申込み・電話で
日時を調整します。
相談所

* 教育相談所(市役所別館内)
558 6444
* 教育相談所五日市分室(五
日市地域交流センター内)
596 6460

子ども家庭相談所を開設しています

市内の各児童館では、お子
さんのことで悩んでいること
や、困っていることがあれば、
経験豊かな館長が親身になって、
適切な助言やアドバイスをし

てくれますので、お気軽にこ
相談ください。

開設時間 午前9時～午後
5時(日・祝除く)
予約制

「あきる野市教育の日」(12月第1土曜日) 制定記念事業

教育フォーラム ... 命を大切にし、一人ひとりが輝いて生きていこう!

“今”を生きる私たちの思い、夢、心の叫びを聞いて! ... 中学生の主張大会

あきる野市 教育フォーラム

昨年度、「命を大切にし、思いやりのある子どもを育てる! 大人が変われば、子どもが変わる!」をテーマに、あきる野市

小中学校PTA連合会と教育委員会が共催で、「子どもフォーラム」を開催しました。町内会・自治会連合会や青少年委員、青少年健全育成地区委員会、民生児童委員、学校、PTAなど、子どもへの教育に関係のある方々に小・中学生の代表を加え、たくさんの方々が集いました。「思いやりの気持ちあふれる子どもを育てたい」と願っている関係者が一同に会した貴重な場となった。もつと多くの保護者が参加できるように配慮してほしい。小・中学生の本音を聞きながら、大人としての役割を考えてみたい。など、次年度につながる多くのご意見をいただきました。今年度はその反省を生かす方向で、あきる野市小中学校PTA連合会と教育委員会の共催で、昨年の会のさらに前進させるフォーラムを行います。

テーマ「命を大切にし、一人ひとりが輝いて生きていこう!」

日時 平成16年12月4日 午後1時から3時45分まで
場所 秋川キララホール
内容 ディスカッション: 子どもたちは今、「命」についてどう考えているのか。
講演: 「障害を乗り越え、輝いて生きる」
講演者: 中村勝雄氏
小学館ノンフィクション大賞・優秀賞作家
参加費は無料で、どなたでも参加できます。
問合せ 指導室
558 8859へ

未来を築く 青少年健全育成 あきる野市大会

日時 平成16年12月5日 午後1時開演
場所 秋川キララホール
第1部
中学生の主張大会: 市内の中学生が日常生活を通して考えていることや、願い・希望を発表します。
・アトラクション: 秋多中学校吹奏楽部の演奏です。
第2部
・各種表彰: 青少年の善行を称える善行表彰式及び中学生の主張大会の表彰式を行います。
問合せ 社会教育課青少年係 (内線3014)

男女共同参画計画「あきる野男女共同参画プラン」及び情報誌「f・wave」をご覧ください

女性も男性も性別にとらわれないことなく、それぞれの個性や能力を十分発揮し、あらゆる分野に共同参画し、豊かさを享受できる社会の実現をめざし、あきる野市では、男女共同参画計画「あきる野男女共同参画プラン」を策定しました。

また、男女共同参画啓発のための情報誌「f・wave」を年2回新聞折込みで配布しています。計画書と「f・wave」は、市役所社会教育課、中央公民館、秋川体育館、市内各図書館、あきる野ルピア、生涯学習センター、市のホームページなどでもご覧いただけます。是非一度ご覧ください。

平成16年度 アーティスト イン レジデンス事業

教育委員会では、アートスタジオ五日市(戸倉300番地)に9月15日から12月14日まで外国人1名と国内から2名の計3名の若手版画家を招き、小学校や地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うアーティスト インレジデンス事業を実施しています。12月8日から12日まで作品展を開催します。



今年度の招へい者(写真右から)
アローン・クマール・チャタジー氏
(インド・ビハール市在住)
重野克明氏(足立区在住)
和田ときわ氏(高知県在住)

ギャラリーを開設しています

あきる野市立小・中学校児童・生徒の学校教育活動における作品や各学校紹介を、市民の方にご覧いただけるよう、市役所別館1階ギャラリーに展示しています。市役所にお越しの際は是非ご覧ください。

なお、概ね1か月単位で2校づつ展示しています。日程は次の表のとおりです。

展示月	学校名	学校名
11月	屋城小	御堂中
12月	南秋留小	五日市中
17年1月	書き初め大会作品展	
2月	草花小	増戸中
3月	一の谷小	前田小
4月	増戸小	西中
5月	五日市小	戸倉小
6月	東秋留小	秋多中
7月	多西小	東中